

## 総合技術監理の概要

### 「総合技術監理部門について」

平成12年 9月26日  
技術士審議会一般部会

近時の技術業務の総合化、複雑化等の進展に伴い、業務全体の一元的な把握、分析に基づき、技術の改善やより合理的なプロセスの導入、構築を行うことにより、安全性の向上と経済性の向上を両立させることを目指した監督、管理が重要となっている。

このためには、技術士としての実務経験のような高度かつ十分な実務経験を通じて修得される照査能力等に加えて、業務全体を俯瞰し、業務の効率性、安全確保、リスク低減、品質確保、外部環境への影響管理、組織管理等に関する総合的な分析、評価を行い、これに基づく最適な企画、計画、設計、実施、進捗管理、維持管理等を行う能力とともに、万一の事故等が発生した場合に拡大防止、迅速な処理に係る能力が必要である。

こうした能力の認定については、一部は、既存の技術部門が対応するものの、全体としては、現行の技術部門では対応することができないため、他の部門とは異なる技術を対象とする技術部門として、新たに「総合技術監理部門」を設置する。本部門の設置により、総合的な技術監理に係る諸課題に対応でき得る能力を備えた人材を育成するとともに、その活用を図ることが重要である。

### 1. 合格率

- ・総合技術監理部門の合格率は平均30.2%と20部門の合格率(19.1%)の約1.5倍程度となっており、15年度をピークに合格率が低下している。
- ・口頭試験の合格率が平均89.4%であり、20部門の平均合格率92%程度と比べて2~3%低くなっている。このことは、必須科目においては論文の点数が低くても択一式の点数が高ければ筆記試験には合格できるが、総合技術監理の本質を理解していない(表面的にしか理解していない=論文の点数が低い)ために口頭試験で不合格になる者が多いことを示している。
- ・19年度からは口頭試験時に提出する技術的体験論文が、18年度以前より増える形となる。そのため、今まで以上に口頭試験で経歴に関する突っ込んだ質問が予想され、口頭試験の合格率が下がることが考えられる。

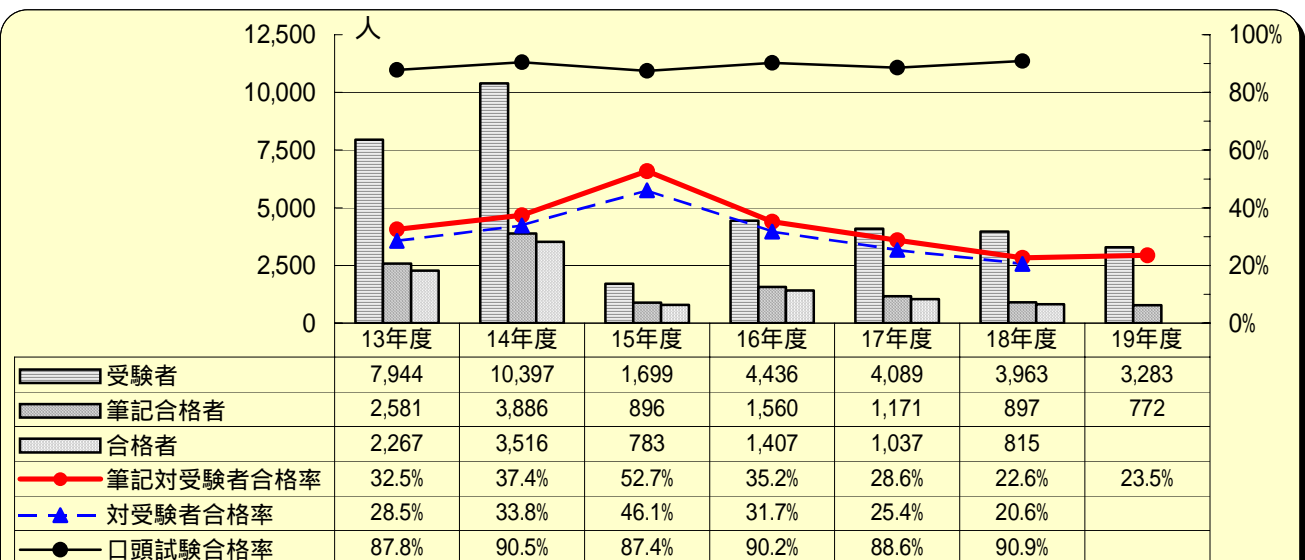


図-1 総合技術監理部門合格率

## 2. 試験の傾向と対策

### A. 傾向

- A-1. 業務経歴の中でどのような総合技術監理的視点を持って業務を行ってきたかを問われる。
- A-2. 経歴の一部として筆記試験で記述をした論文内容を問われる可能性はあるが、論文内容そのものを問われる可能性は低い。しかし、提出した体験論文に関する質問にかなりの時間を費やされることは考えられる。

### B. 対策

- B-1. 「技術者はどうあるべきか」について**自分自身の考え(ポリシー)を確立**しておく。そのためには、合格体験談を基に、**想定問答集を作成するのが有効**である。
- B-2. **業務(仕事)に対する取り組み姿勢・考え方をはっきり持つ**必要がある。また、技術士法の3つの義務と2つの責務を忘れないようにする。このことによって、どのような質問に対しても**一つの芯が通った回答**ができる。総合技術監理部門の質問は抽象的内容のものが多く、日頃からこれら意識しておくことが重要である。
- B-3. 想定問答の**回答を読み返して、総合技術監理とは何かを意識しながら加筆修正を繰り返していく**ことが大切である。初めは、総合技術監理的視点がぼやけていても、2~3回読み返して修正することで総合技術監理的視点を持った回答にすることができる。

#### 想定問答集作成手順

1. 合格体験談からできるだけ多くの質問を収集し、これらの質問を「経歴・応用能力」「体系的知識・見識」「倫理・技術士制度」「語句説明」「経験・選択論文」等に分類する。
2. 自分自身の素直な答え・考えを箇条書きで羅列する。必要なら、キーワードも書き添えておくとよい。時間を掛けて、あらゆる角度から答え・考えを書き出す。
3. 各質問に対する回答の整合性をチェックする。(整合性の確認をしていくことで自ずと自分の考え(ポリシー)が確立できる。)
4. 体験談等の回答を参考にするのはよいが、そのまま自分自身の回答としないこと。[関連質問として突っ込まれるとすぐにメッキが剥がれてしまう。]
5. 実際に答えるとおりに、文章として組み立てる。(話し言葉で文章化する。)キーワードを無理に使う必要はなく、**自分の言葉で総合技術監理的視点を常に心掛けて回答を用意**する。
6. ノートはルーズリーフ形式がよい。想定質問の追加や並び換えに適している。また、1つの質問に1枚を使用するのがよい。

## 3. 学習方法の実例(体験例)

1. 想定問答集を筆記試験終了後から準備した。2回目の時は、1回目の回答を読み返して修正を一部加えた。
2. 自分が試験官ならどのような質問をするのかを考え、体験談からだけでなく独自の質問事項も準備した。
3. 選択論文の復元が出来るような状態ではなかったため、日頃からの自分自身の考えをまとめることに重点を置いて想定問答集作成に励んだ。
4. 建設部門の口頭試験の想定質問と同様の想定質問に関しては、建設部門の時の回答を基に総合技術監理的視点を追加した回答に修正をした。

### なぜ、想定問答集なのか？

技術者としての自分自身の考えをまとめ、そしてポリシーを確立するには、想定問答集を作成することが有効である。体験談から想定される質問を自分自身で考え、それに対してあらゆる角度から答えを考える、このことが非常に重要である。まず、他の質問との整合性を考えずに答えを書き出し、全部の質問に対する答えを考えてから矛盾する点を見つけ、そこで整合性のある答えを考えるのである。このようなことは、この機会でないときはないので、是非、想定問答集を作成することを勧める。口頭試験のためだけではなく、総合技術監理部門の技術士として何をすべきかを考えるのにも必要である。

- ・「**感じ・考え・行動する**」を感性の3Kという。
- ・「**見つめる・見つける・見とおす**」を先見性の3Mという。
- ・「**試験に受かる人間になりなさい**」が合格の秘訣である。

心得 ・入室前に深呼吸!! ・背筋を伸ばして姿勢よく!

- ・ **5つの管理の観点を忘れない。** 総合技術監理の部門設立の主旨を十分理解
- ・ 試験官の問いかけを正確に聞き取り、的確に答える。(正確な表現) 意図を考え、誠意を持って答える。
- ・ 必要以上にしゃべらない。不適切な表現、**その場しのぎは禁物。** 自分を飾らない。
- ・ はっきりと落ち着いて、**試験官を見て話す。** 聞き取りやすさを意識。
- ・ 自分の意見をしっかり表現すること。自信を持つ。事実と意見を区別する。
- ・ 質問の主旨がわからないときは聞き返す。
- ・ 試験官と論争、議論をしない
- ・ **質問に沿った返答**をする。
- ・ 判らない時 「勉強不足で申し訳ありません。これから勉強します。」 } 総監は日々努力。  
「今後、勉強して研鑽に励みたいと思います。」
- ・ 試験官は全てわかった(理解)うえで、質問をしている。(全てを知っている)
- ・ 内容があいまいにならないよう、筋道を立てて、話が逆戻りしないようにする。
- ・ **結論 → なぜならば** の順が答えやすい。
- ・ 試験官に対して敬意を表わす。(試験官は専門家、先輩技術士である。)
- ・ **日頃の考え、行動を説明するのがベスト。= 考えている事を整理することで、どんなことにも対応が可能。**
- ・ 試験官の反応を見ながら、質問を長引かせない
- ・ 試験官がその回答で納得すればOK。
- ・ 質問は抽象的であり、自分自身の考え方や具体的な対処法を聞かれる。青本のキーワード・エッセンスを織り交ぜる。/事例で話すと言説力が増す。
- ・ 試験官との出会いを楽しみにし、会話を楽しむつもりで。
- ・ 自信を持って謙虚に。 **平常心**で
- ・ アピールが度を越さないように。
- ・ 体験論文: 中心的役割を果たした。
- ・ 「自信を持って」「落ち着いて」「相手の目を見て」「大きな声ではっきりと」
- ・ 試験官が確認したいのは、**知識・見識・人格**である。
- ・ 補足説明は、「今は～と考えています。」がよい。
- ・ 相手の意見を尊重したうえで、持論を述べる。
- ・ 技術の今後について方針を持つ。
- ・ 試験官は教科書的な答えを求めていない。持論・実戦経験を求めている。

**試験官に不満足な回答ならば、もう一度聞き直されることが多い**

**キーセンテンス** ; 出来れば答えの中に織り込みたいと考えた言葉

- 建設現場、施工現場、施工技術者において、**総合技術監理**、**5つの管理は必須の事柄**である。
- 本支店がマネジメントに力点を置き過ぎると現場と乖離する。
- 能力・レベルの証しが資格である。  
 施工者としてではなく、**発注者・地元住民の立場から物事を考え、そのうえで施工者としてどのように対応するかを考える。**

**相手の立場に立って物事を考える。**

- ・本当に社会に対して益となることは何か。
- ・社会が建設工事・建設事業に求めているのは何か。
- ・何のために、だれのために工事をするのか。

- 建設業における**財産は人材**しかない。
- 安全・環境と公益確保**を優先する。
- 人命と自然は**一度失うと取り戻す事ができない**。たとえ自然を復元するとしても**多大な費用と時間**が必要。
- 技術とは本来、**人類の未来を築き幸せにするもの**である。公衆を**幸せに導くもの**。技術者の果たす役割とは何か。
- 技術者は技術と一般市民(公衆)とを結ぶ**パイプの役割**がある。市民との接点を持った技術者。
- FTAで災害要因を抽出し、FMEAで対策を立案する。そして、**QC工程表とリンク**させる。
- 施工者としての**アカウンタビリティ**がある。
- 安全管理に関する費用等は、リスク保有のための一種の保険である。
- リスクマネジメント;狭い意味:安全管理においてリスク管理を行うためのマネジメント技術。  
 広い意味:総合技術監理の根幹をなす5つの管理全体に適用可能な**幅広い技術体系**
- 公害を発生させたもの技術者、環境を取り戻そうとしているのも技術者である。
- 幅広い視野視点とバランス感覚**を備えることが必要である。
- 技術を軽んじている企業は滅んでいく。**技術者は倫理観**を持たないと社会から抹消される。
- 資格は取って終わりではなく、始まりである。
- トレードオフに対する判断基準**を技術者として持つべきである。
- 建設業では監理技術者証(一級土木施工管理技士でOK)を持てば、用が足りる。
- 人間的に成長するように、**技術者にとって必要なものは何か**を指導教育してきた。
- 技術者の**グローバル化**、APEC等の資格相互承認に対応する。**制度の整合性**が必要である。
- コンサルとゼネコンの共同企業体**による設計施工型入札を行えばどうか。
- 技術者は技術を通じて、**安全と安心を提供**する使命がある。
- 社会と技術を結び付けるには、リスクマネジメントを基にした5つの管理を統括したうえで、**倫理観と幅広い観点からの分析・評価**が必要である。
- 技術者群の**リーダー、核**となり、**公益を担う**のが技術士。**個々の要素**に携わるのが**20部門**の技術士で、この要素を**コーディネート**して、物として造り上げるのが**総合技術監理部門の技術士**である。
- 総合技術監理としての**リスクマネジメントの重要性**が増していく。



建設部門(20部門)と総合技術監理部門の答え方の違いから、総合技術監理としての答え方のポイントを掴んでもらいたいために、同じ質問に対する両部門の回答例を併記した、

**想定問答**

一問一枚で作成しましたが、ここでは続けて記載します。

明朝体; 建設 **ゴシック**; 総合技術監理

( 質 問 )

・受験の動機、目的について述べてください。

( 回 答 )

2つあります。

1. 中小のゼネコンでも技術力がないと生き残れない時代になってきています。今まで当社には技術士がいませんでしたので、技術者にとって最高の資格である技術士を取得することによって私自身の技術者としての社会的信用をより高めることで当社の技術力のアピールにつなげたいと考えました。
2. 私自身が技術レベルの向上を図ることによって、後に続く者の育成と現場の技術レベルの向上につなげ、社会に貢献したいと考えたことから受験をしました。

( 回 答 )

受験の動機は3つあります。

- 1つは、私は14年度の建設部門合格者で、建設コンサルタントにおける管理技術者要件見直しや土木学会の技術者認定試験の受験資格になどに見られるように平成12年度までの合格者と比べて扱いに差があることから、総合技術監理部門の資格を取得して、初めて一人前の技術士であるとの思いがあったことです。
- 2つ目は、青本を読んで、今まで業務をいかに狭い範囲の知識だけで行っていたか、勉強不足を痛感するとともに、これからの技術者にとって必須の内容だと感じました。そのため、自分自身が勉強することで人間性を広めるとともに後進の指導にも活用したいと思いました。
- 3つ目は、幅広い視野から業務全体を見渡して、総合技術監理の考え方を持って仕事を行うことは、技術者として社会の信頼を得ることにつながり、このことこそが社会貢献ではないかと考えたためです。

( 質 問 )

*(口頭試験でズバリ聞かれた。建設・総監とも)*

・社会人になってからの経歴を[3分で、5分で] (+手短に)述べてください。(200字/分喋る目安)

( 回 答 )

昭和 年に 大学を卒業後、 建設に入社しました。入社後 年間は 公団発注の現場で工事と工務を担当しました。初めに配属された トンネル工事では、当時の最新工法を学ぶとともに、アリマックライマーによる立坑の切上り掘削、濁水処理設備の管理も担当しました。

次に、 道 インターチェンジ工事で風化泥岩の盛土工事等を経験した後、 ジャンクション工事にて品質管理及び原価管理の責任者として大規模フォーミングのコンクリート打設方法の計画と管理を行ったことで、施工に関わるコンクリートの技術的知識を大いに得ました。

この後、建設省直轄の ダム工事で経験論文の一つとして記述しました雪崩予防柵工事と常用洪水吐工事等の技術的責任者として 年間施工計画から施工管理まで携わり、平成 年から 年あまり 支店土木部工事課で作

業所への品質管理の指導と土木部全体の原価管理を担当しました。平成 年 に再び現場勤務となり、電力の煙突基礎工事に携わり、平成 年からは経験論文の2つ目に記述した水力発電所の改修工事で、原価・品質・安全と施工計画の責任者を務めた後、一身上の都合で、今の 組 に転職しました。 組 では都市計画道路の新設工事を現場代理人として統括管理を経験した後、本社で現場の技術指導・支援、環境管理及び若手技術者教育の責任者としての業務を 年 行っています。また、今年の 月 から購買発注業務も担当しています。

（ 回 答 ）

昭和 年 に 大学を卒業後、 建設に入社しました。入社後、〇〇年間は日本道路公団の〇〇トンネル、〇〇道の〇〇インターチェンジ、〇〇ジャンクションと当時の建設省直轄の〇〇ダムで、工務・工事の担当、責任者として、長大トンネル、立坑切上り掘削、風化泥岩の盛土、大規模フォーミング、雪崩予防柵設置、常用洪水吐等を担当しました。内容としては、経済性管理のうち品質管理・工程管理・原価管理、社会環境管理の濁水処理、安全管理の労働安全管理を経験しています。平成 年からは、 建設 支店土木部工事課で、土木部門全体の経済性監理として事業計画案作成、品質向上・利益確保の指導・支援、情報管理として改善活動の標準化、人的資源管理としてジョブローテーションを考慮した人員配置計画の立案を担当しました。平成 年 に〇〇火力発電所の煙突基礎の施工計画に携り、平成 年からは、〇〇県〇〇町にある水力発電所の改修工事の副所長、災害防止責任者として、リスクマネジメントを含めた安全管理、河川汚濁防止のための社会環境管理、VEによる原価低減の経済性管理、層別沈下計・間隙水圧計等の自動計測の情報管理を行いました。平成〇〇に〇〇組に移り、都市計画道路新設工事の所長として現場の統括管理を経験した後、平成〇〇年からは、本社の課長として、現場への技術支援・指導と社会環境管理として廃棄物処理・リサイクルの啓蒙、人的資源管理として技術者の教育を行ないました。

（ 質 問 ）

・技術士の資格を今後どのように仕事に活かしていきますか。 総合技術監理を活かしてどういう仕事に就きたいと考えていますか。

（ 回 答 ）

現場の施工計画の照査、問題点解決のための技術的検討・提案と適正なコスト管理を行うことで無駄を省くことにつながるように原価管理活動の指導に活かしていきます。

（ 回 答 ）

大きく分けて2つやってみたいことがあります。1つは人材育成です。建設業における財産は人材しかなく、そのためにも、施工技術者の能力開発・教育指導を行いたいと考えています。そのうえで、私の経験を活かして技術支援・指導が出来ればと思っています。また、建設業に限らず、技術者に対して総合技術監理的な考え方と技術者倫理を含めた指導教育をしたいと考えています。もう一つは、公共工事における技術評価です。国や都道府県レベルでは、事業に対する経済性評価や技術評価は行われていますが、地域社会資本整備を担っている市町村レベルではまだまだの段階ではないかと感じています。本当に必要なインフラを提供していくためにも、第三者機関による技術評価も含めた事業評価が必要ではないかと考えています。このような方面にも総合技術監理を活かして、業務を行いたいと考えています。

（ 質 問 ）

・合格した時の抱負を述べてください。メリットはあるのですか。

（ 回 答 ）

抱負として3つあります。

1. 技術士としての言葉の重みが出てきますので自己研鑽に励み、自分自身の技術力向上を図り、幅広い業務にチャレンジしていきます。
2. 現場における技術的課題、問題の解決に今まで以上に積極的に取り組み、後輩の技術力向上に貢献します。
3. 中小ゼネコンの一員として、今までも社会の発展に貢献してきた自負はありますが、技術士を取得することで、より一層社会に貢献したいと思っています。

社内的なメリットは、当社では今まで技術士がいませんでしたのでわかりませんが、技術士を取得することによって、技術者としての信用を得ることが最大のメリットであると考えています。

（ 回 答 ）

総合技術監理を私自身が十分に理解してないことも多く、この技術をフルに活用できるとは思っていません。また、この技術体系ももっと整備されていくと思いますので、日々努力、勉強しなければならないと考えています。少しずつでも業務にこの考え方を取り入れて、現場で施工している技術者の能力向上につなげたいと考えています。また、私自身が幅広い技術、人間性を身に付けて、技術者としての倫理観も含めた教育を積極的に行っていくつもりです。そのうえで、世の中のニーズを的確に捉え、技術を技術者だけのものとしせずに市民にも理解してもらえるように幅広い視点から説明できる、市民との接点を持った技術士を目指したいと考えています。

平成 16 年度総合技術監理口頭試験再現(501 号室 10:30 ~ 10:56)

試験官: 2 名 私からみて 左側(L): 自営コンサル役人風 (論文の癖をよく見ていた。セネコン出身かも最終的にこやか。)  
右側(R): コンサルの方の感じ (主にこの方が質問をした。緑の上着を着用。)

A : B の〇〇番 〇〇 〇〇です。よろしくお願いします。  
(今回は間違いなく番号は言った。建設の時は記憶がない。)

QR: お座りください。(横の椅子が荷物置場であった。)

QR: 簡単な経歴は持っていますが、〇〇さんの経歴を話してください。

A : (想定通り)

昭和〇〇年に〇〇大学を卒業後、建設に入社しました。入社後、13 年間は日本道路公団の〇〇トンネル、〇〇道の〇〇インターチェンジ、〇〇ジャンクションと当時の建設省直轄の〇〇ダムで安全管理としての労働安全管理を行い、品質管理、原価管理、工程管理の経済性管理、社会環境管理として濁水処理の担当及び責任者として行いました。そして、平成〇年から建設支店土木部工事課で、経済性管理としての事業計画立案、利益確保・品質向上のための指導支援、情報管理として改善提案の標準化、人的資源管理としてジョブローテーションを考慮した人員配置計画書の作成を担当しました。平成〇年に〇〇火力発電所の煙突基礎の施工計画に携わり、平成〇年水力発電所の増改修工事で副所長、災害防止責任者として、リスクマネジメントを含めた安全管理、VE による原価低減等の経済性管理、河川汚濁防止の社会環境管理、被圧水を含んだ掘削を行いましたのでそれに伴う自動計測の情報管理を行い、平成〇〇年に〇〇組に転職をし、都市計画道路の新設工事の所長をした後、本社の課長として技術支援指導、産業廃棄物等の社会環境管理、人的資源管理として技術者教育を行いました。そして、そこには書いていないのですが、今年の〇月いっぱい退職をして、現在は一応充電中の状態です。

QR: 建設と〇〇組で色々な経験をされていますが、どのようなことが違うと感じられていますか。

A : [これは想定問答にはなかった。自分の感じたことそのまま述べるしかない!?]

建設は大企業で、〇〇組は地場の企業です。規模的には約〇〇億程度で土木は〇〇か〇〇億程です。違いといっても難しいですが、現場は国家的プロジェクトを扱うか地元の社会整備(ここで、QR氏が社会資本整備と訂正してくれた)、インフラを扱うかの違いはあります。現場の若手職員には大きな違いはなく、〇〇組の方が優秀だとも感じています。

QR: 〇〇組での課長としての立場は、所長に対してどのような立場ですか。

A : 本社では土木と建築の両方を見ていました。私は土木の人間ですから土木の技術指導を行っていました。

QR: 所長に対しての立場はどうでしたか。

A : 土木の人間ですから土木本部長補佐的な立場で、〇〇組の所長は若いのが多いことから話をしていました。課長といっても土木建築とは別組織にはなっていたのですが、実際は土木本部長の下で工事部長のような立場でした。(指導監督の立場かどうか確認したかったみたいで納得されたよう)

今は、入札参加申し込みの時に監理技術者の名前を出すので若い所長が多くなっています。

QR: 技術士として考えていることはありますか。

A : (ほぼ想定通り)

私は、相手の立場に立って物事を考えるようにしていますし、そのように所長にも指導をしてきました。発注者や地元住民の立場に立って物事を考えてみてから施工者として考えることが必要だと考えています。

QR: 今までに失敗した例はありますか。なかったらいいのですが。

私はこの一言で合格しました!!

A : (想定通り)

人的災害を発生させたことがあります。〇〇〇の現場で、私は災害防止責任者として安全の最高責任者でした。冬期のコンクリート養生のためのヒーター給油担当者の衣類に付いた灯油が発火して火傷をしたものです。フィードバックとしては、ヒーターを火力の弱いものにする、ブライトヒーターという火力の強いのを使っていましたので一般的に使われている少し火力の弱いジェットヒーターにしました。またヒーターの前を通らないように通路を作成しました。応急処置として行いましたが、翌日作業員全員を集めて一人一人から意見を話してもらいました。もちろん、職員の反省会も行い、事例は支店を通じて水平展開を行いました。

QR: あまり大したことはないですね。ほかに何かありますか。

A : 特にはないです。

QR: わかりました。

QL: (初めての質問であった) 〇〇組での所長はどんな現場ですか。周りの状況とか道路占用とかは必要でしたか。

A : 区画整理地内の工事でしたので周りは何もありませんでした。既にの工事が終わっていてその後の工事でした。

QL: 危機管理をしたことがありますか。



A : (したことがないので、「なし」にしようかとも思ったが、想定問答の中から成功例を話すことにした。)  
危機管理になるかどうか分かりませんが、高低差が130mあるコンクリート打設でコンクリート中の微粉末量に着目した配合によって圧送性を改善してリスクを低減したことがあります。リスクとして配管内の詰まりを取り除く作業が載り免状での作業となり転落落下災害が考えられたことと打設の中断によるコールドジョイントの恐れがあったことそして打設量の減少によって工程が確保できないことが考えられました。(少し、頭をかしげていたよう)

QR:技術士はいつ取りましたか。

A : (想定とおり)

平成〇〇年度に合格しています。一次試験は、昭和〇〇年度の第〇回に合格しています。  
(両試験官とも、ホ～と言った表情をした。)

QR:技術士とはどのようなものかと考えていますか。

A : (想定問答を組み合わせて回答。)

技術士とは、法的には高等の専門的応用能力を必要とする事項について計画、評価、試験等を行うものとなっています。(6つの項目を少し省いてしまった。ビジョン21も入れようと思い)技術士会のビジョン21では、科学技術のリーダー・核になるもので、公益確保に携わるものとあります。(想定問答での後段を省略してこれだけは是非話したいと考えていることにした。)そして、**市民の方にも技術を説明できる市民との接点を持つことの出来る技術者が総合技術監理の技術士**ではないかと考えています。

QR:説明責任についても聴こうと思っていたのですが、いまの話に含まれていましたのでやめます。CPDについてはどのようにしていますか。

A : (想定通り)

新技術・新工法等の情報収集は、インターネットを活用しています。また、技術士会のCPD講座等にも参加しています。技術士会の建設部会の〇〇〇〇〇グループの世話人をしており、官・民・ゼネコン・コンサル・女性等の多彩なメンバーから知的刺激を受けています。また、〇〇県技術士会の委員として見学会を開催したり、CPD講習にも参加しています。また、最近は〇〇〇〇〇〇〇〇、〇〇さんが理事長をされているのですが、に関する会合にも会社を辞めてからは声をかけていただき、違った方との交流で刺激を受けています。

QR:既に技術士ですから聞くこともないのですが、新しい法律では技術士の義務が増えています、どのような義務等がありますか。

A : (想定通り)

私は〇〇年の合格ですので、そのときには既に増えていました。一つは、信用失墜行為の禁止、秘密保持義務、名称表示の義務、公益確保と資質向上の責務です。

QL:ISOに関してはどのように考えていますか。

A : (想定通り)

〇〇組では、9000しか認証を受けていませんでした。14000は受けていません。このようなことを言うてはどうかと思いますが、私は、9000に関しては必要ないと思います。というのは、土木でも建築でも9000に必要な書類は今までも残してきている訳で、民間建築でも建築基準法によって書類は残しています。

QL:やはり、書類が増えるだけですか。(独り言のよう)

A : ただ、トレーサビリティや不適合、是正処置予防処置などの良い点は業務に取り入れていくべきだと思います。標準化がポイントと言われていますが、現場では難しく、また標準化によって若い職員が考える事をしなくなるのではと思っています。昔のQCのようになるような気がしています。

QR:(QL氏に、なにかありますかと合図をして)相手の立場に立って考えると話がありましたが、このことは私が考える**総合技術監理の片方の軸足と同じで、話を聞けてよかったです**。発表は2月ですがそれまで待っていてください。これで終わります。

A : どうもありがとうございました。(と、立上り、荷物を取って、頭を下げた)

出口でもう一度 ありがとうございました。失礼します。

#### 《口頭試験が終わってからの感想》

- ・論文に関する質問は、経験・選択ともに一切なく(当日書いた論文は、試験中も見えてはいたようだが。)、また、語句の説明を求められることもなかった。
- ・経歴を基にした質問がほとんどで、総合技術監理の技術士としての素養を確認しているように感じた。
- ・想定問答において、自分自身の考えをまとめるようにしておいたことが役に立ち、そのため、出来るだけ想定問答に沿った答えをするように心掛けた。
- ・付け刃的な知識だけでは、到底太刀打ちできないと感じた。